

令和 6年度 杉並区施策評価シート I

(00037)

施策 02 地域の防災対応力の強化									
目標 01 みんなでつくる、災害に強く、犯罪を生まないまち									
施策担当課 防災課					関係課 保健福祉部管理課 土木管理課 済美教育セ				
施策目標 発災時の電源の確保、ICTの活用等により、震災救援所の機能が充実し、避難生活の質の向上が進むとともに、在宅避難者につながる環境が整備されています。区民の防災意識が向上し、電気火災の発生防止や備蓄品の確保、防災訓練への参加など自助・共助の取組が主体的に行われています。災害時における支援の仕組みづくりを通じて、平常時の緩やかな見守りや支え合いが地域で行われています。									
活動指標					成果指標				
指標名（ 1 ）		防災訓練の実施回数			指標名（ 1 ）		災害時に備えて家庭内での対策を行っている区民の割合 区民意向調査による【区民 】		
算式・指標説明					算式・指標説明				
指標名（ 2 ）		備蓄倉庫・学校防災倉庫の整備数			指標名（ 2 ）		防災訓練に参加した区民数		
算式・指標説明					算式・指標説明		【行政】		
指標名（ 3 ）					指標名（ 3 ）		避難生活想定者一人当たりの区内食糧備蓄率		
算式・指標説明					算式・指標説明		区内食糧備蓄量÷避難生活想定者3日分食糧【行政】		
指標名（ 4 ）					指標名（ 4 ）		地域のたすけあいネットワーク（地域の手） 新規登録者数		
算式・指標説明					算式・指標説明		【行政】		
					指標名（ 5 ）				
					算式・指標説明				
					指標名（ 6 ）				
					算式・指標説明				
区分		単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		目標値	目標年度
			実績	計画	実績	計画 （目標値）	実績		
活動指標	活動指標（ 1 ）	1 回	156	500	303	500	393		
	活動指標（ 2 ）	2 か所	97	99	99	99	99		
	活動指標（ 3 ）	3							
	活動指標（ 4 ）	4							
成果指標	成果指標（ 1 ）	5 %	91.6	94.0	92.3	96.0	79.1	100%	令和12年度
	成果指標（ 2 ）	6 人	13,257	38,000	37,119	39,000	40,240	45,000人	令和12年度
	成果指標（ 3 ）	7 %	73.3	80.0	80.0	86.7	86.7	100%	令和12年度
	成果指標（ 4 ）	8 人	1,272	1,700	1,385	1,700	1,705	1,700人	令和12年度
	成果指標（ 5 ）	9							
	成果指標（ 6 ）	10							
施策コスト	事業費	11 千円	492,755	629,078	518,972	682,825	609,750	特記事項	
	人件費	12 千円	195,966	194,713	195,391	172,549	197,590		
	総事業費 （11+12）	13 千円	688,721	823,791	714,363	855,374	807,340		
	国・都からの補助金等	14 千円	4,481	0	7,538	0	2,273		
	総事業費伸び率 （計画、実績の対前年度比）	15 %			3.7	3.8	13.0		
	人件費比率 （12÷13）	16 %	28.5	23.6	27.4	20.2	24.5		

課題・分析	<p>大規模な地震災害に備え、避難生活の質の向上などの取組を進めてきましたが、引き続き、災害備蓄倉庫の整備や震災救援所の設備充実が必要です。また、建物の耐震化や不燃化の促進に伴い在宅避難者の増加が見込まれるため、家庭での備蓄品の備えなど区民一人一人の防災意識の向上がますます重要となりますが、災害時に備えて家庭内での対策を行っている区民の割合が、昨年から約13%減少しており、更なる周知・啓発活動が必要です。</p> <p>また、意思疎通に不安や困難を抱える外国人への啓発や福祉救援所の指定に向けた民間事業者との連携・強化等の災害時要配慮者支援の取組、備蓄品の充実・入替等も適切に行う必要があります。</p> <p>さらに、震災救援所における避難者の受付や混雑状況確認、要配慮者の安否確認、在宅避難者の把握等、避難者の利便性の向上や震災救援所の効率的な運営の観点から、デジタル化は急務です。</p>
施策の成果	<p>今後、高い確率で発生すると予測されている首都直下地震等の大規模災害に備えて、震災救援所への非常用発電設備等の整備や馬橋公園拡張整備等に合わせた災害備蓄倉庫の整備、学校防災井戸の改修を進めるなど、災害時拠点施設の防災機能の強化を図りました。</p> <p>また、災害発生後3日間の水や食料の必要量を確保するとともに、震災救援所での避難生活において、災害時要配慮者や女性への配慮をはじめ、きめ細かい対応が求められている中、アレルギー対応食料や女性の視点を取り入れた防犯ブザーやメイク落としなどの備蓄品の充実を図りました。</p> <p>令和5年度の防災訓練については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことによる行動制限の解除などにより、参加者数が増加し、計画した訓練参加者数の103%を達成することができました。さらに、地域のたすけあいネットワーク（地域の手）の新規登録者数は、未登録者への一斉勧奨により目標値を上回ることができました。</p> <p>一方で、家庭内で災害対策を行っている区民の割合が低下していることから、特にその傾向が強くみられる若年層を含む区民に対して、具体的な災害対策の取組を促すためのSNSなどを通じたPR・周知活動に、これまで以上に取り組む必要があります。</p>
改善・見直しの方向 中長期	<p>今後の施策の方向性</p> <p>拡充</p>
	<p>地域の防災対応力の強化を図るため、区民を誰一人取り残さない視点に立った様々な事業に取り組んでいます。</p> <p>首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模災害の発生が予測される中、火災危険度が高い地域を重点地域として、電気火災の発生防止策となる感震ブレーカーの設置支援に継続して取り組みます。</p> <p>震災救援所での避難生活においては、発災後3日間を乗り切るための食料の確保や女性が安心して避難生活を送るための備蓄品を拡充するほか、避難所生活におけるプライベート空間の確保や長期断水を想定した備蓄品の追加配備、災害時要配慮者への支援などに引き続き取り組みます。また、区内の主要な駅や幹線道路に防災カメラを増設するほか、太陽光発電設備のない23か所の震災救援所に蓄電池を配備するとともに、井草防災拠点（杉並中継所跡地）の暫定的整備に取り組みます。</p> <p>また、区民意向調査による「災害時に備えて家庭内での対策を行っている区民の割合」が減少したことを受け、自助を促し防災対応力の強化・向上を図る上でも、区民一人ひとりの防災意識の継続に繋がるPR・周知活動を強化してまいります。</p> <p>今後の進め方</p>

令和 6年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 02】【施策名称 地域の防災対応力の強化】 金額の単位は千円 (00037)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 5年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 039	防災会議運営等			4,336	33,888	38,224	現状維持
2 040	消防団等運営助成			11,675	5,852	17,527	現状維持
3 041	防災意識の高揚			50,152	37,854	88,006	現状維持
4 042	災害応急対策			18,065	29,947	48,012	現状維持
5 043	災害時情報連絡体制の確立			61,560	15,905	77,465	推進（拡充）
6 044	防災施設整備			450,523	42,186	492,709	現状維持
7 119	災害時要配慮者支援対策			13,439	31,958	45,397	推進（拡充）
8	以下再掲事業分の評価表						
9 308	災害時医療体制の充実						
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				609,750	197,590	807,340	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--